

羅針盤



2018年5月25日(金) 第47号

過去から学び、今日のために生き、
未来に対して希望を持つ。大切なこと
は、何も疑問を持たない状態に陥らな
いことだ。

(アルバート・アインシュタイン (1879-1955))

山口和士氏講演(平成30年度進路講演会)

これからの世界を拓く年若き同志たちへ

— 未来に繋がる10の指針 —

5月23日(水)に今年度の進路講演会が行われました。講師は、昨年もお話を伺い、たくさんの勇気や激励を頂戴した山口和士先生です。放課後にかけては保護者対象の講演も行っていただきました。今年も様々なヒントに満ち溢れた資料を準備いただいたの講演でした。資料の中にあっただ印象的な言葉と10の指針を取り上げます。



「要は『志』を持てるかどうかで決まるのです。どうか自分を深く見つめ、自らの目指す方向を見つめてほしい』『夢』や『志』を持った時、人間は変わるのです。昨日までの貴方ではなく、明日の貴方を目指すべきです」

「貴方は現実世界に真剣に向き合う『勇気』を持っていますか？ 若者ならば、将来出会うであろう友人、恋人、沢山の仲間達のために、郡山という街、福島という県、日本という国を超え、この地球上の全ての人々のために自らを生かそうと考えるべきではありませんか？」

『未来に繋がる10の指針』～志望校合格を勝ち得た者に共通する2年次からの施策～(⑥⑦省略)

- ① 高い目標を早くから設定し、具体的な「志」を持って
- ② どんな暑い日も、どんな寒い日も、自宅に帰ったらそのまま、夕食前に必ず1時間は勉強した。(むろん、その後の家庭学習も大切です)
- ③ 部活動のために家庭学習時間が少ない分、徹底して授業を重視し、疑問点は必ずその時間内に先生に質問するか、その日の内に職員室に聞きに行き、解決した。
- ④ 教科書の予習を中心に勉強し、平日の学習時間3時間を確保出来ない分、土日は復習中心に4時間以上学習時間を確保した
- ⑤ 友人でも、あこがれの異性でもいい、自分より高い位置にいる仲間を目指し、少しでも近づきたいとイメージすることが大きな精神的柱となった。
- ⑧ 塾に頼る勉強は高校入試まで。自分でどう時間を使うか、塾に頼らず通わず、入学した高校に通う誇りを胸に、1日・1週間単位の学習計画を自身で立てて、実行した。
- ⑨ 部活動の中堅学年として、遠征や合宿など試合への移動中は、部員全員がバスや列車の中で参考書を開く雰囲気を作った。メリハリの利いた移動戦略を実施した。
- ⑩ 2年秋までに、保護者に自分の将来に「夢」または「希望」をきちんと伝え、保護者の協力を心からお願いした。

5月	曜日	行 事 等	課 題	朝学習
26日	土		国・数・英	
27日	日			
28日	月		国・英提出	数学
29日	火	40分授業	数Ⅱ提出	英語
30日	水	生徒会役員選挙		国語
31日	木		数B提出	総合
6月1日	金	衣替え・登校指導 特別時間割4校時		数学
2日	土		数	
3日	日			
4日	月	特別時間割5校時		数学
5日	火	考查一週間前(部活動等制限)	数Ⅱ提出	自学
6日	水			自学
7日	木		数B提出	自学
8日	金			自学
9日	土			
10日	日			
11日	月			自学
12日	火	前期中間考查(～6/15)		自学



インターハイ県大会出場を決めた部の壮行会を行いました(5/21)。選手も、応援も立派でした。東北・全国を目指し、活躍を期待します。

今年度最初の定期考查が近づいてきます。身に付く学習を計画的にすすめましょう。

《「オリンピックから学んだこと」(門馬崇文さんの講演):17期生の感想から(抜粋)》

1組 佐藤 夏乃

今日の講演は、今までの講演の中で最も引き込まれるものでした。今回、平昌オリンピックの試合の映像や練習内容を見させて頂くなかで、テレビの中で輝いて見えた選手たちは、その一瞬のために何年もかけて時間と体力を尽くして目標を達成したのだと分かりました。門馬さんが最後に「忙しい」と言わない」とおっしゃっていたように、今の私よりも忙しい人は大勢いる中で弱音を吐くことは今後しないようにしようと決めました。これから私たちが目指す道は、オリンピックで金を取るという目標に比べれば、少し頑張れば届くものです。弱音を吐かず、自分に負けず、少しではなくめっちゃくちゃ努力して、高い目標を達成します。

3組 春木 結衣

今回の講演を聞いてモノの見方が変わりました。感謝や尊敬の気持ちを大切にすべき、などダメになるお話を多く聞けましたが、一番思ったことは、意識しないと何事もダメなんだな、ということです。一流であることも、ビジョンをしっかり持つことも、自分をよく知ることも、すべて意識するからできることで、意識しないといけないだな、と。自分には今、なりたいものはありません。しかし、だからと言って目標なく、なんとなく過ごすのではなく、極端な話、東大を目指し勉強でもすればいいのだと思います。人生の4%しかない高校生活、有意義なものにしたいです。ただ勉強するだけでなく、様々な経験をしたいです。